

## 第34回人間らしく働くための九州セミナーin大牟田

### 九セミ大牟田 2024 現地実行委員会ニュース NO.1

#### 大牟田現地実行委員会結成総会を開催しました！



1990年にスタートした九州セミナーも、今年で第34回目を迎えることとなりました。毎年九州各県持ち回りで開催されてきた歴史と成果を引き継ぎ、2024年11月16日（土）-17日（日）に大牟田市で開催されることが決定しました。今年度は完全集合開催で開催し、参加者全員で学び、議論し大いに語り合うことのできる九州セミナーにしていきたいと思っております。現地実行委員会では2024年2月20日（火）に福建労会館にて約50名が参加し、現地実行委員会結成総会が開催されました。

#### 呼びかけ人代表挨拶

矢野誠さん（大牟田市社会保障推進協議会 会長）

人間らしく働くとはいったい何なのか。2024年4月から働き方改革どの職種にも適用されます。人間らしく働くということはどういうことなのか。参加者の皆で考えることができる場になるよう力を合わせ成功させましょう。



#### 代表世話人会代表挨拶

田村昭彦さん（九州セミナー代表世話人会議長）

大牟田での開催は20年ぶりとなります。昨年現地集合開催を宮崎で開催することができました。やはり、多くの人が集まることに大きな意義があると感じます。九州には公害や労災職業病が多い地域。九州各地で働く人の健康を守る運動を作っていく必要があります。健康守るだけでなく、健康な職場を作ることをこの運動の中で作っていき、旺盛に繰り広げていきたいと思っております。「みんなが生徒でみんなが先生」楽しいセミナーになるようにしていきましょう。



人間らしくという根底の平和が脅かされています。ロシアのウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナでの戦闘行為、それを口実とした大軍拡など、人間らしさが危機的な状況だと思っています。いのちを直接支える分野の社会保障も大きく削減され、残業をしながら地域の人々の健康を支えています。その中でも大牟田の医師体制については大変厳しいもので、健康や働きやすさなどの考えは決定的にかけていると思います。今回のセミナーがそのようなことを考えるきっかけになり、未来への希望が持てるようなセミナーにしていきたいと思っています。



### 九州セミナーin大牟田実行委員会の紹介

実行委員長 : 後藤 康平医師 (親仁会)

副実行委員長 : 矢野 誠 (大牟田市社会保障推進協議会 会長)

: 杉垣 朋子弁護士 (不知火合同法律事務所)

: 平川 道治 (全日本建設交運一般労働組合 執行委員長)

事務局長 : 野口 知哲 (親仁会)

事務局次長 : 湯村 圭祐 (親仁会)

々 : 井上 暁雄 (親仁会・コメディカル)

々 : 今井 竜太郎 (親仁会・看護)

々 : 白石 央 (親仁会・労働者健康問題委員会)

々 : 小井手 祥 (くるめ医療生協・事務)

々 : 平野 礼子 (不知火メディックス)

々 : 熊川 隆幸 (あらぐさ会)

々 : 緒方 英樹 (親仁会労働組合)

々 : 中嶋 了 (福岡建設労働組合大牟田支部)

実行委員 : 金栗 健一、荒木 一親 (親仁会)、山崎紘一郎、山口俊也 (親仁会労働組合)

上原 邦弘 (大牟田民主商工会)

●今後の予定●

3月19日(火) 15:00~ 第1回事務局会議

九セミ大牟田 2024 を一緒に作りましょう。  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております。



## 九セミ大牟田 2024 現地実行委員会ニュース NO.2

### 基本コンセプトが 「エッセンシャルワーカーの働き方と健康」 に決定しました。

今年11月に開催予定の第34回人間らしく働くための九州セミナーin大牟田の基本コンセプトが決定しました。今回はコロナ禍で注目を浴びたエッセンシャルワーカーの働き方と健康を掲げ取り組みます。

コロナ禍でエッセンシャルワーカーは注目を浴びましたが、ポストコロナ期になっても労働条件・処遇の改善は行われていません。社会生活を送るのに欠かせない職業だからこそ、エッセンシャルワーカーが健康に安心して働ける社会は、すべての人々にとっても安心して生き残り続けられる社会と考えます。またエッセンシャルワーカーの中でもケアに係る労働者は女性労働者が多く、昨年のコンセプトであるジェンダー平等を発展させるものと考えます。

### 第1回現地実行委員会 学習会を開催します。

学習会はシンポジウム形式で開催します。

どなたでも参加できますので、是非お誘い合わせの上、お越し下さい。現地実行委員会では、セミナーの取り組み経過や基本コンセプト、今後の企画・取り組みについての意見交換する予定です。

日時：6/15(土) 14:00~16:40

場所：大牟田市中央公民館

内容：「エッセンシャルワーカーが抱える課題と2024年問題」

#### ■シンポジウム

#### ★コーディネーター

杉垣朋子さん（不知火合同法律事務所）

#### ★シンポジスト

後藤康平さん（社会医療法人親仁会）

中嶋 了さん（福岡県建設労働組合）

緒方秀樹さん（建交労福岡県本部）

北口徹一さん（福岡県教職員労働組合）

### 第2回現地実行委員会開催のお知らせ

第2回現地実行委員会を8月頃に開催します。

次回のテーマは「エッセンシャルワーカーとジェンダー」（案）です。

講師は現在調整中です。宮崎セミナーで学んだジェンダー問題について、大牟田セミナーでも改めて学びたいと思います。学習会にはどなたでも参加できます（無料・予約不要）ので、多くの方の参加をお待ちしています。

九セミ大牟田 2024 を一緒に作りましょう。  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております。





6月15日  
第1回

# 学習会を開催

～学習テーマ～

## 「エッセンシャルワーカーが抱える課題と 2024 年問題」

大牟田の現地実行委員会は、11月の九州セミナーの本大会開催に向けて動きはじめています。その第1弾企画として、6月15日（土）に、本大会のテーマでもある『エッセンシャルワーカー』について、シンポジウムを開催しました。医療、建設業、運輸業、教育の4業種（エッセンシャルワーカー）よりシンポジストを招き、コーディネーターを副実行委員長である杉垣朋子弁護士にお願いして「エッセンシャルワーカーが抱える課題と 2024 年問題」というテーマで議論を深めました。

学習会には、60名を超える参加者が集まり、エッセンシャルワーカーの働き方改革や現場での課題・現場が抱える苦悩などについて学び合いました。学習会の一部をご紹介します。



【コーディネーター】  
不知火法律合同事務所  
杉垣朋子 弁護士



【シンポジスト】  
社会医療法人 親仁会  
後藤康平 医師

2024年度から、医師の働き改革がスタートしました。しかし、何か変わったかという点は何も変わってはいません。「医師の働き方改革」に関する厚生労働省の動画を見ると、医師労働の軽減のために、患者や家族に負担をお願いする内容となっています。確かに、診療時間を短くする方法によって、医師の勤務時間は減少させることができるかもしれませんが、しかし一方で、患者や家族にとっては、必要な時に受診ができなくなる、急病時や時間外での受診をためらってしまうなど、不利益となるため正しいやり方とは言えません。

タスクシフト・タスクシェアについても、医療ではすべての職種が忙しい状況にあり、全体の仕事量が減るわけではなく、負担が他の職種に映るだけであり、根本的な解決とはなりません。

医療現場も家族も既に努力はしています。医師や医療現場の過密・長時間労働の根本は人員不足です。解決するためには、OECDと比較して圧倒的に少ない、人口当たりの医師の数を、OECD平均まで増やすことです。

建設業界には、全国にいる約330万人の職人のうち100万人が「一人親方」だと言われています。建設業界は、重層下請け構造の中で雇用という働き方が少ない状況です。賃金については、職人の多くが「日給月給」であり、休日が増えると収入が減ります。また、賃金額では、建設業の職人は平均342万円、一人親方でも403万円と、賃金労働者の平均年収457万円を大きく下回っています。さらに、年齢に応じて賃金が上昇するという業界ではないこともあり、労働者は「1日でも多く働きたい」というのが本音です。休みは日曜日だけ、というのが普通です。

2024年から、社会保険の加入が推進され、元請けが社会保険の事業所負担分を負担するように求められていますがほとんど守られていません。

また、今回の制度は国が現場の実情を全く理解していません。ほとんどが零細企業である建設事業所において、労務管理や賃金計算をする余裕は親方にはありません。そして、建設労働者の労働時間を減らし（週休2日）、労働者の生活を守るためには単価を1.2倍にしなければなりません、元請けや上位企業は負担をしようとはしていません。



【シンポジスト】  
福岡県建設労働組合  
大牟田支部  
中嶋了 書記長



【シンポジスト】  
全日本建設交通一般  
労働組合 福岡県本部  
緒方秀樹 さん

はじめに、報道で国民に間違った理解がされているので、はじめに言いますが、運輸業界における、今回の働き方改革「制度改正」での問題は、「市民に荷物が届かなくなる」ということではありません。

運輸業界では、規制緩和が行われたことで、多くの企業が参入してきました。そして競争の中で「運賃のダンピング」が加速しました。運賃のダンピングは労働者の賃金に跳ね返り、運輸関連労働者は、低賃金・長時間労働が普通となりました。そのような中で健康被害の発生が続いたこともあり、今回、時間外労働の上限規制が導入されることとなりました。しかし、低い基本給と距離・時間などから割り出される手当で賃金が構成される運輸労働者は、生活給を稼ぐために、「長時間働きたい」と考えます。また、国は労働時間の削減分を距離で補うため制限速度上限をあげました。これでは、安全な運行はできません。

運輸業界における労働者の安全や健康を守るために必要なことは、労働時間を短縮しつつも、運賃を適正価格にすること、そして低すぎる賃金を改善させることです。

今、教育（学校）の現場では、先生の超過勤務・休日出勤・連続勤務は常態化しています。理由は、子ども・保護者との関り（多様性をもつ子どもの受入れ、保護者からの要求や保護者間のトラブル仲裁など）、次に、仕事の内容が増加している（外国語授業の導入、ICTの推進、部活動、学級通信）、そしていらぬものを削れない（学力テストの分析・評価、集金業務、どうしてもいい出張など）があるからです。残業時間のアンケートにおいて、月45時間以上という回答は、小学校64.5%、中学校77.1%にもなります。

私自身は、教師の仕事についてやりがいもあり、素晴らしい仕事だと思っていますが、やはり心身への負担はとて大きいものです。今のような状況が続くと、身体もこころも壊しかねません。また、私たちをみて、子どもたちは「先生になりたい」とは思わないでしょう。

教育現場における働き方改革は、教師の業務整理と業務削減を図ること。また時間外労働を正確に把握するために時間と賃金をリンクさせることも重要です。そして何よりも、教員定数を増やすことが、先生にも子どもたちにとっても大切です。



【シンポジスト】  
福岡県教職員  
労働組合  
北口徹一 執行委員長



【代表世話人 議長】  
田村昭彦 先生

シンポジウム後は、「九州セミナーin 大牟田 現地実行委員会を参加者全員で開催しました。実行委員会では、これまでの事務局会議における議論の到達や11月の本大会に向けてのスケジュール、そして本大会のテーマなどについて共有をしました。また、第2回現地実行委員会学習会（8月3日 中央公民館 研修室A テーマ「エッセンシャルワーカーのジェンダー問題」）を案内しました。

最後に、田村昭彦先生（九州セミナー代表世話人 議長）より閉会の挨拶を受け、第1回学習会と実行委員会を終了しました。

#### ◆◆◆参加者からの感想（アンケートより一部抜粋）◆◆◆

- エッセンシャルワーカーの処遇の悪さに改めて気づかされた。労働条件・賃金の改善を国は考えるべき。
- どの業界（業種）でも、人員不足が大きな問題だと感じた。
- 制度だけをつくって、あとは現場任せにする国の態度は間違っている。労働者の健康や生活を守るために責任を持つべきである。
- エッセンシャルワーカーが抱える課題に対するアプローチのきっかけとなる学習会でした。11月の本大会に向けたよい学習会でした。
- どの業界も2024年問題にぶつかり大変だということが分かった。解決方法をみんなで考えていきたい。

## 第 34 回人間らしく働くための九州セミナー in 大牟田

### 九セミ大牟田 2024 現地実行委員会ニュース NO.4

#### 大牟田セミナーの記念講演の講師が決まりました！

11月の九州セミナーin大牟田の記念講演講師が決定しました。1日目の11月16日(土)にご講演いただきます。みなさま是非ご参加ください。

#### 講師: 田中 洋子さん (筑波大学人文社会系名誉教授)



講演「エッセンシャルワーカーが安心して働ける社会のために」

筑波大学人文社会系名誉教授。東京大学大学院経済学研究科修了。博士(経済学)。東京大学経済学部助手、筑波大学社会科学系専任講師、准教授、教授を経て2024年より現職。ベルリン・フンボルト大学国際労働史研究所フェロー(2015-16年)、ハーバード・イエンチン研究所招聘研究員(2017-2018年)。ベルリン自由大学フリードリヒ・マイネッケ研究所、法政大学大原社会問題研究所客員研究員。専門は社会経済史、日独労働・社会政策。主な著書は『ドイツ企業社会の形成と変容-クルップ社における労働・生活・統治』(ミネルヴァ書房 社会政策学会奨励賞、冲永賞受賞)、「ドイツにおける企業内教育と『職』の形成」『大原社会問題研究所雑誌』、「Tumbling Down the Standard Life Course; The Ice Age Generation of the Turn of the Twentieth Century and the Origins of Polarisation in Japan」, Josef Ehmer & Carola Lenz(eds.), Life Course Work, and Labour in Global History, De Gruyter、『エッセンシャルワーカー 社会に不可欠な仕事なのに、なぜ安く使われるのか』(旬報社)。



コロナ禍で「日常生活になくてはならない仕事をする人」いわゆる「エッセンシャルワーカー」の存在が世界中でクローズアップされた。メルケル独前首相のそれらの人々に対する感謝のスピーチは記憶に新しい。では日本のエッセンシャルワーカーがおかれた状況はどうか。本書はドイツの現状や改革の動向と比較しつつその現実を描き出し改革を促す。

九セミ大牟田 2024 を一緒に作りましょう。

現地実行委員会へのご参加お待ちしております。

発行: 九セミ大牟田 2024 現地実行委員会事務局 大牟田市歴木 4-65 親仁会本部内

TEL: 0944-53-2711 FAX: 0944-53-5800

# 第 2 回現地実行委員会学習会 を開催しました

## 《学習テーマ》 エssenシャルワーカーとジェンダー問題

大牟田現地実行委員会は、11月の九州セミナーの本大会開催に向け第2弾企画として8月3日（土）に山崎あづさ弁護士を講師にお招きし、エssenシャルワーカーのジェンダー問題について議論を深めました。



《講師》

女性協同法律事務所

山崎あづさ 弁護士

コロナウイルスのパンデミックが世界を襲ってから数年が経ち、エssenシャルワーカーの重要性と、その中でのジェンダー不平等が改めて注目されています。女性が多く従事するエssenシャルワーカーの多くは、男性と比較して賃金が低いことが多く、長時間労働や不規則なシフト勤務が一般的であり、これが家庭生活や子育てとの両立を難しくしています。特に女性は、家庭内での責任も多く担っているためさらに大きな負担となります。歴史的な性別役割分担や社会的な偏見が、労働市場における女性の地位を低下させる要因ともなっています。2024年6月発表のジェンダーギャップ指数で日本は146カ国中118位と他のOECD加盟国と比較しても下位に位置しています。特に経済参加と政治的分野で大きな課題を抱えています。私たちがこの問題に関心を持ち、公正な待遇を受けられる社会の実現に向けて行動する重要性を改めて感じさせられた講演となりました。

### 指定報告（社会福祉法人 あらぐさ会 保育士 橋本さん）

保育士にとっても新型コロナウイルス感染症の影響は大きなものでした。保育士は子供たちとの密接な接触が避けられないため、感染リスクが高まり保育士自身の健康や安全が懸念されました。そんな中でも利用者に寄り添い時には保護者の負担を減らすため園児の洗濯を保育士で手分けしておこなったり、男の子が女の子の水着を着たいとの訴えに真摯に向き合い奮闘する保育士の事例報告がされました。しかし、保育士は女性の多い職場で賃金が低いのが現状です。賃金の引き上げとともに、労働環境の改善の必要性を感じた報告でした。

## 指定報告（社会医療法人 親仁会 介護福祉士 田上さん）

介護福祉士も同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。介護の仕事は体力を必要とする場面が多く、男性はその点で期待されがちです。実際に肉体的負担が大きくなり腰を痛めたため、労災申請したが色々な意見があったとの報告がされました。また、男性の育休についても社会的な偏見が根強く取得しづらいとのことでした。同性介護の難しさや、LGBTQ に対する職場の対応など現場の声が報告がされたこととても印象的でした。



九セミ大牟田 2024 を一緒に作りましょう！  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております。



### ◆◆◆参加者からの感想（アンケートより一部抜粋）◆◆◆

- ジェンダー平等という言葉はよく使われているが世界的にみると日本の男女格差は大きいと感じた
- 男女平等と理解しているつもりでも、無意識の偏見があると思った。
- 女性の大変さは実感しているが、女性の中で働く男性の大変さを知るよい機会となった
- 子供の教育と保護者を支える保育士さんにエールを送りたいと思いました

たくさんのアンケートありがとうございました。

主催 第34回人間らしく働くための九州セミナーin大牟田 現地実行委員会  
〈お問い合わせ〉

第34回人間らしく働くための九州セミナーin大牟田 現地実行委員会事務局  
〒837-0924 大牟田市歴木4-65 親仁会本部内  
TEL 0944-53-2711 FAX 0944-53-5800  
Email [t-noguchi@kome-net.or.jp](mailto:t-noguchi@kome-net.or.jp)



## 第34回人間らしく働くための九州セミナーin大牟田

### 九セミ大牟田 2024 現地実行委員会ニュース NO.6

#### パネルディスカッションのパネリストが決定しました!

11月の九州セミナーin大牟田のパネリストが決定しました。

1日目の11月16日(土)の記念講演後に開催いたします。みなさま是非ご参加ください。

#### 【テーマ】

「エッセンシャルワーカーの働き方と健康」

#### 【コーディネーター】

田村 昭彦さん(九州セミナー代表世話人 議長)

#### 【パネリスト】

- ①医療 堤 健一さん(米の山病院 管理師長)
- ②公務 佐賀達也さん(愛知県労働組合総連合 事務局次長)
- ③保育 橋本久美子さん(高取保育園 園長)
- ④韓国 ナム・ウグンさん(韓国非正規労働センター・所長)  
キ・ホウンさん(韓国非正規労働センター・政策局長)  
キム・ジクスさん(韓国社会公共研究院・研究委員)



通訳 大塚大輔さん

今回は「エッセンシャルワーカーの働き方と健康」をテーマにパネルディスカッションを開催します。

2020年から本格的にはじまった新型コロナウイルスパンデミックで日本のエッセンシャルワーカーは過酷な労働を強いられました。しかし、その労働とは引き換えに得たものは一体何だったのでしょか。医療の現場では一部の医療従事者にしか適用されない処遇改善が持ち込まれました。保育労働者の処遇は依然として低く抑えられたままです。公務労働では自治体職員の非正規化に歯止めがかかりません。

パネリストはヒューマンサービス労働を中心に、コロナ禍以前とコロナ禍での実態を報告していただき、改善したことや悪化したこと、今後の課題などについて討論していただきます。今回、韓国の非正規労働センターと社会公共研究院からお越しいただき、コロナ禍で韓国国民がどのような運動をおこない成果を勝ち取ってきたのか、また、国に対しどのような政策提言を行い、エッセンシャルワーカーの労働がどのように見直されてきたのかなど、日本の労働運動に示唆する報告をいただきます。

九セミ大牟田 2024 を一緒に作りましょう。

現地実行委員会へのご参加お待ちしております。

発行:九セミ大牟田 2024 現地実行委員会事務局 大牟田市歴木 4-65 親仁会本部内  
TEL:0944-53-2711 FAX:0944-53-5800